

特定小電力
トランシーバー

Panasonic®

品番 RJ-X590Z

取扱説明書



このたびは特定小電力トランシーバーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。その後大切に保存し、必要なときにお読みください。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。

保証書付

上手にを使って上手に節約

付属品

- 単3形アルカリ乾電池 (3個)
- イヤホン付マイクセット
イヤホン (1)
マイク (1)
中継コード (1)
- ベルトクリップ (1)
- ハンドストラップ (1)

松下電器産業株式会社 オーディオ事業部
〒571 大阪府門真市松生町1番4号 ☎(06)909-1021

持込修理

パナソニック音響製品保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。詳細は裏面をご参照ください。

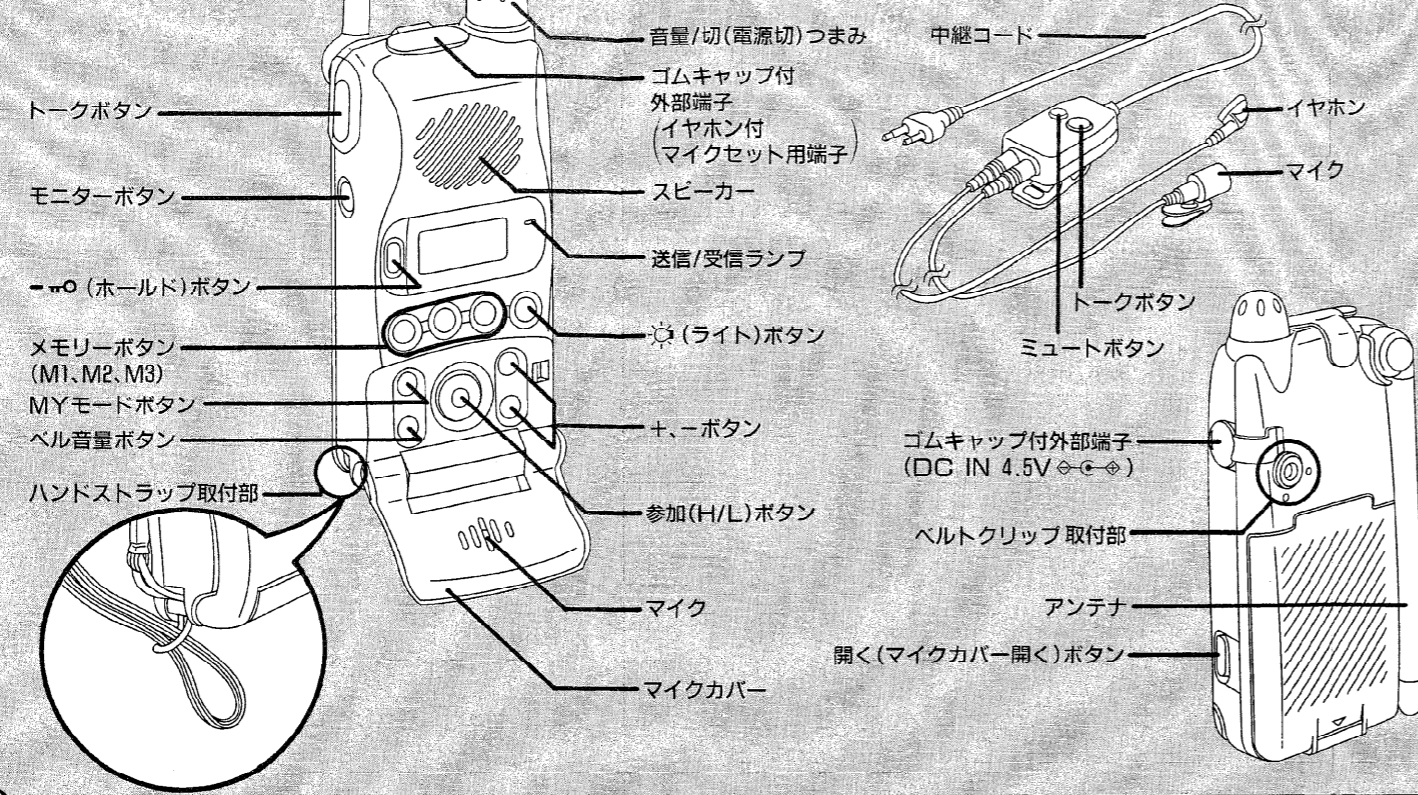
品番	RJ-X590Z		
保証期間	お買い上げ日から 1 年		
*お買い上げ日	年	月	日
お客様	ご住所		
	お名前 様		
	電話 () -		
販売店	住所・氏名		
	電話 () -		

松下電器産業株式会社 オーディオ事業部
〒571 大阪府門真市松生町1番4号 TEL(06)909-1021

ご販売店さまへ ※印欄は必ず記入してお渡しく下さい。

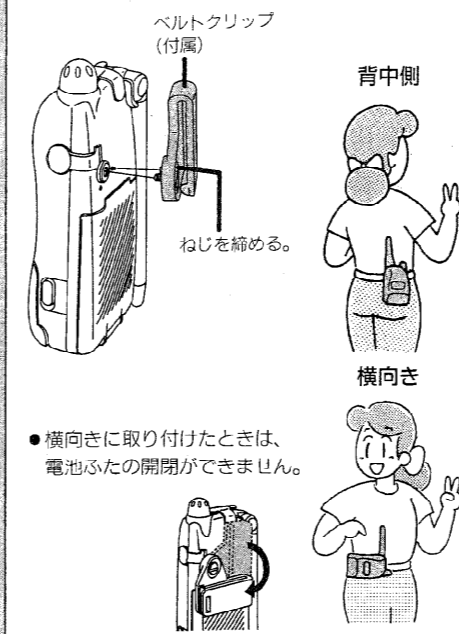
RQT2684-S F0794Q0

各部のなまえ



ベルトクリップの使い方

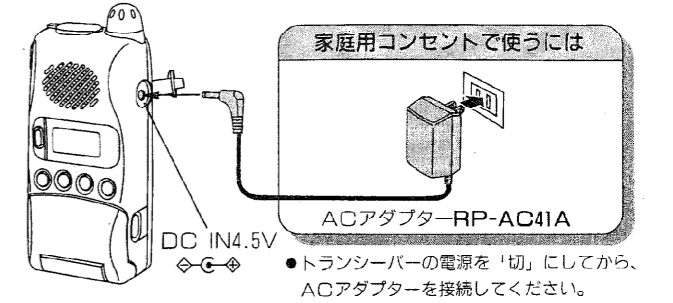
図のように本体に取り付けます。



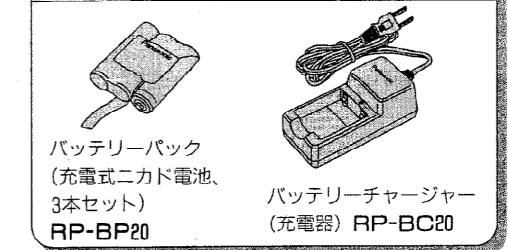
●横向きに取り付けたときは、電池ふたの開閉ができません。

動作のじまにならないように、身体の側面、背中側、または横向きに取りつけることをおすすめします。

別売り品と組み合わせて使う



繰り返し使えて経済的



●充電時間は約8時間です。
●バッテリーパックのリボンを下向きにして本体に入れておくと、取り出すときに便利です。

その他

カーアダプター SH-CDC9

●トランシーバーの電源を「切」にしてから接続してください。

ヘッドセット RP-HM20

イヤホン RP-HV20

RP-EP11

便利な使い方

途中で電源が切れたとき

誤って電源を切ってしまった、電池が消耗したなどで途中で電源が切れても、元の通話状態に戻れます。

■親機(呼び出した側)

トークボタンを押しながら電源を入れる

●コールナンバーを変更したとき(+、-ボタン、メモリーボタンを押したとき)は、元の通話に戻れません。

■子機(呼び出された側)

「通話に参加する」の手順に従ってください。

暗い所で表示を確認したいとき

(ライト)ボタンを押す

ボタン操作中は、ディスプレイが明るくなり、ボタン操作が終わると約5秒後にライトが消えます。

一時的に送話音量を下げたいとき

イヤホン付マイクセットのミュートボタンを押す

押している間、相手には自分の声がほとんど聞こえなくなります。通話中の相手には関係のない話をするときなどに便利です。

相手の声が聞き取りにくいとき

モニターボタンを押す

雑音に混じって音声が聞こえることがあります。

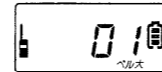
もとに戻すには、もう一度モニターボタンを押してください。

●本体のスピーカー、マイクを使って送受信しているときは、モニターボタンを使わずに、相手との距離を近づけて対応してください。モニターボタンを押して相手に送話すると、スピーカーからの雑音もマイクが拾い、自分の声が相手に聞きづらくなります。

子機の呼び出し音の大きさをかえる

ベル音量ボタンを押す

押すたびにベル音量大きい(ベル大)→小さい(表示なし)

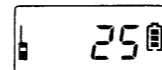


よく使用するコールナンバーをメモリーする

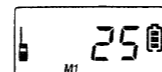
メモリーしておく、簡単にコールナンバーをかえることができます。M1, M2, M3の3つまで、メモリーできます。

例: コールナンバー25をM1ボタンにメモリーする

1 +、-ボタンを押して、「25」を表示させる

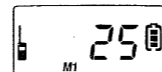


2 M1ボタンを1秒以上長押しする
●ビ、ピビと音が鳴ります。



■メモリーした番号を使うにはメモリーボタン(M1, M2, M3)をポンと押す

メモリーされたコールナンバーが表示されます。

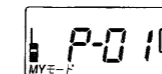


自分の専用番号を設定する(MYモード)

コールナンバーの中から1つ、自分の専用番号として設定できます。専用番号での呼び出しがあると、表示されているコールナンバーにかかわらず、呼び出し音が鳴り、ディスプレイに相手の専用番号が表示されます。

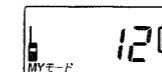
例: 専用番号を12に設定する

1 MYモードボタンを押しながら電源を入れて、「MYモード」を表示させる

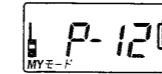


1の操作をするたびにMYモード(MYモード)→解除

2 +、-ボタンを押して「12」を表示させる



3 MYモードボタンを2秒以上長押しする
●ビ、ピビと音が鳴り、12が自分の専用番号に設定されました。



■専用番号を変えるには手順1から3を繰り返す

故障かな!?





修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなときは	ここをご確認ください
電源が入らない。	●⊕、⊖が正しく入っていますか。 ●電池が消耗していませんか。
“U01”が表示された。	●電池が消耗しています。
通話できない。	●相手と同じ通話モード、同じコールナンバーに合わせていますか。 ●相手との距離が離れすぎていませんか。
通話中、ハウリング(ピーという音)がおこる	●音量を小さくしてください。
ボタン操作できない。	●ホールドになっていませんか。
音声がおかしい。	●2台以上の子機が同時に送信していませんか。
ディスプレイに異常な表示が出る。	●一度電源を入れなおしてください。

本機には2つの通話モードがあります

1台のトランシーバー（親機）が複数のトランシーバー（子機）を呼び出し、回線がつながると通話が始まります。通話時間の制限はありません。

本機には、子機からの送話方法の違う2つの通話モードがあります。

トランシーバーモード()	電話モード()
親機 例えはレストランで…  フロント係	親機 例えは工事現場で…  現場監督
子機  私たちはフロントの声を聞きながら仕事をします。ボタンを押している間、フロントに返事もできます。	子機  リーダーの私は電話のように監督と会話をしながら仕事をします。 私は監督の指示を聞くだけ。

- 電話モードは一般の電話とはつながりません。
- 通話モードの切り換えは、「通話前の準備」の「通話モードを切り換えるには」をご覧ください。

＜無料修理規定＞

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本書をご持参ご提示いただきお申しつけください。
- ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の輸送、落下などによる故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧などによる故障及び損傷
 - (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
 - (ホ) 本書のご提示がない場合
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問合わせください。

※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。

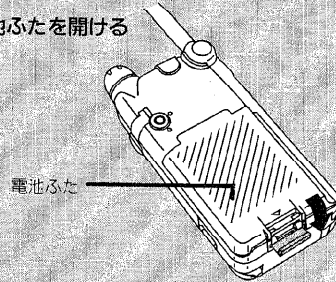
※ This warranty is valid only for Japan.

電源について

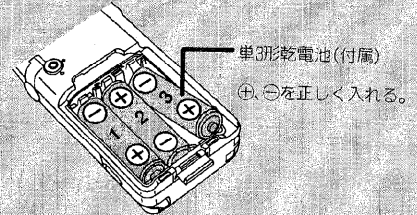
単3形乾電池3個で使用できます。

- 持続時間の長いアルカリ乾電池の使用をおすすめします。
- 電池を入れる前に、まず電源「切」の状態であることを確認してください。

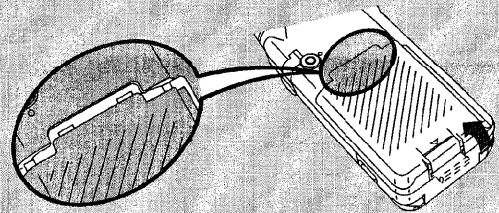
1 電池ふたを開ける



2 電池を入れる



3 電池ふたを閉める

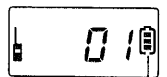


①電池ふた上部を合わせる

②カチッと音がするまで押す

電池の交換時期について

電池残量表示で電池の消耗を確認できます。表示が点滅し始めたら電池が消耗していますので、電池を交換してください。

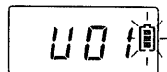


電池残量表示

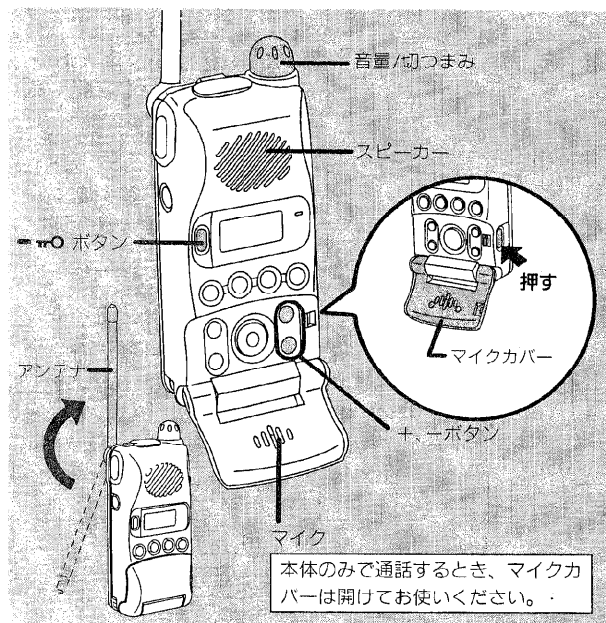


■電池が消耗すると

ピーピーと音が鳴り、ディスプレイに“U01”が表示され、電池残量表示が点滅します。新しい電池と交換してください。電池を交換せずに、さらに消耗がすすむと、自動的に電源が切れます。



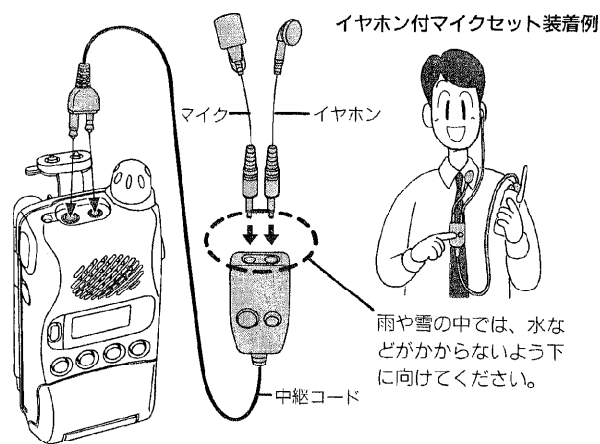
通話前の準備



1 イヤホン付マイクセットを接続する

付属のイヤホン付マイクセット(イヤホン、マイク、中継コード)を下図のように接続します。

接続する前に、電源が切れていることを確認してください。



- イヤホン付マイクセットを接続せずに本体のみで使うときは、スピーカーと、マイクカバーの内側のマイクが働きます。
- 付属のマイクのみを直接本体へ接続しても正常に働きません。

通話中は、トランシーバー本体をポケットに入れたり、付属のベルトクリップを使って腰などに取り付けます。(裏面の「ベルトクリップの使い方」参照。)

2 アンテナを立てる

アンテナを垂直にした状態でお使いください。

アンテナに手を触れたり、身体に密着させると通話距離が短くなります。

3 電源を入れる

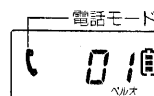
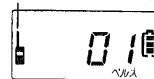
音量/切つまみをまわす

“ π ”か“ π ”が表示されます。

通話したいすべてのトランシーバーが同じ通話モードであることを確認してください。

通話モードの切り換えは、下の「通話モードを切り換えるには」を参照してください。

トランシーバーモード



4 コールナンバーを合わせる

通話したいすべてのトランシーバーを、同じコールナンバーに合わせます。

① π 表示があれば、 π ボタンを長押しして、 π 表示を消す (ホールド解除)。

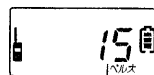


② 開くボタン(左図矢印)を押し、マイクカバーを開ける。

③ +、- ボタンを押し、コールナンバー (01~99) を合わせる。

⊕ 数字が上がる

⊖ 数字が下がる



コールナンバー

誤操作を防ぐために(ホールド)

ホールドとは、誤操作を防ぐため、通話に必要なボタン(トーク、モニター、ライト、ホールド)以外のボタンを働かなくする機能です。

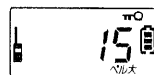
ボタン操作をする前は、必ずホールドを解除してください。

■ホールドの切り換え

π ボタンを1秒以上長押しする。

押すたびに

ホールド(π) → 解除



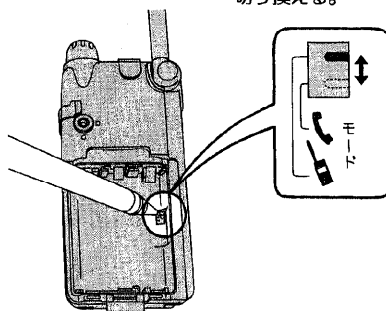
通話チャンネルについて

本機は、空きチャンネルを検出し、通話に使うチャンネルを自動で選択するMCA(マルチチャンネルアクセス)方式です。

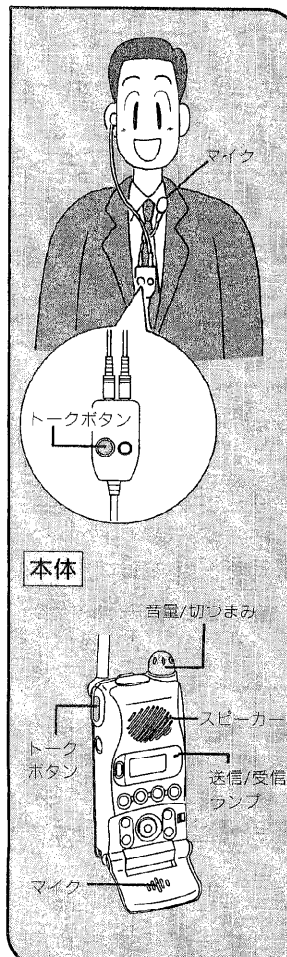
通話モードを切り換えるには

①電池ふたを開ける。

②ボールペンなどで切り換える。




トランシーバーモードで通話する(15分)



本体

回線をつなぐ

- 通話をしたいすべてのトランシーバーがトランシーバーモード(), 同じコールナンバーであることを確認してください。
- 確実に回線をつなぐため、全員集まって行うことをおすすめします。

親機

トークボタンを押す

- ブルブルという音が鳴ります。



すべての子機

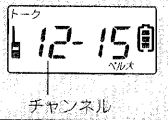
- ブルブルと7回鳴ります。

呼び出し音が鳴っている間に、子機がそれぞれ

トークボタンを押す



回線がつながると、親機、子機とも本体ディスプレイに“トーク”とチャンネルが表示されます。



チャンネル

通話する

- 親機の声はすべての子機に送信されています。
- 子機のうち1台ずつ、トークボタンを押している間、親機に送話できます。子機どうしの相互通話はできません。

親機

マイクに向かって話す



10名様ご到着です
2階席は空いていますか？

子機1

トークボタンを押しながらマイクに向かって話す



2階席です
10名はちょっとムリです

子機2

トークボタンを押しながらマイクに向かって話す

- 他の子機が親機に送話中に送信しようとしても、「ピー」という警告音が鳴り、送信できません。



1階席
10名様OKです

■送信/受信ランプの色について

親機・子機の通話の状況により、ランプの色が変わります。

赤	送信のみ
オレンジ	送信と受信
みどり	受信のみ

■受話音量について

音量/切つまみで、受話音量を調節してください。本体での受話音量は、スピーカーを耳に近づけたときに聞こえる程度の大きさです。

通話をやめる

親機

全員に通話の終了を伝えます。
音量/切つまみをまわし、

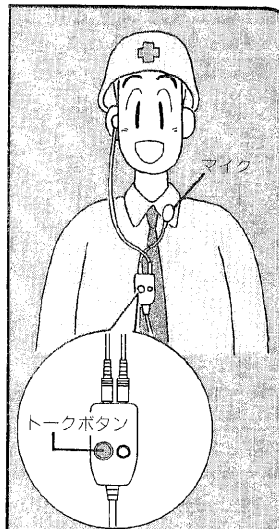
電源を切る

すべての子機

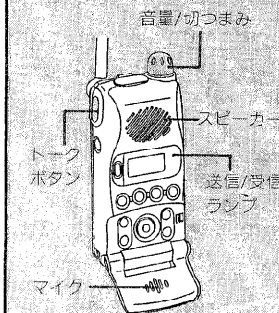
音量/切つまみをまわし、

電源を切る

電話モードで通話する (15分)



本体



送信/受信ランプの色について

親機・子機の通話の状況により、ランプの色が変わります。

赤	送信のみ
オレンジ	送信と受信
みどり	受信のみ

受話音量について

音量/切つまみで、受話音量を調節してください。本体での受話音量は、スピーカを耳に近づけたときに聞こえる程度の大きさです。

回線をつなぐ

- 通話をしたいすべてのトランシーバーが電話モード(☎)、同じコールナンバーであることを確認してください。
- 確実に回線をつなぐため、全員集まって行くことをおすすめします。
- 子機のなかで主に親機と電話のように通話する1台(子機1)を決めておきます。

親機

トークボタンを押す

- ブルブルという音が鳴ります。



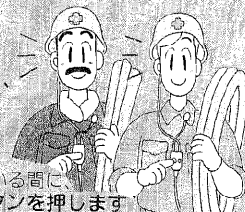
子機

- ブルブルと7回鳴ります。

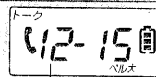
呼び出し音が鳴っている間に、まず、子機1が

トークボタンを押す

その後、呼び出し音が鳴っている間に、他のすべての子機がトークボタンを押します



回線がつながると、親機、子機とも本体ディスプレイに「トーク」とチャンネルが表示されます。



チャンネル

通話する

- 親機と、最初にトークボタンを押した子機1台は、電話のように通話できます。他の子機には親機の声が発信されます。子機どうしの相互通話はできません。

親機

マイクに向かって話す



そちらの作業はどうか

あと30分はかかります

では、集合は12時ちょうどにします

子機1

マイクに向かって話す



その他子機



12時に集合

親機と会話する子機を交代する

親機



Bさんの調子はどうですか。Aさん、いったん切ってください。

切ります

では、Bさんどうぞ

Bです
こちらは順調です

子機1



トークボタンをすばやく2度押す

- 親機への送信が切れます。

子機2

親機の指示を受けて

トークボタンをすばやく2度押す

- 他の子機が親機に送話中に送信しようとしても、「ピー」という警告音が鳴り、送信できません。



通話をやめる

親機

全員に通話の終了を伝えます。音量/切つまみをまわし、

電源を切る

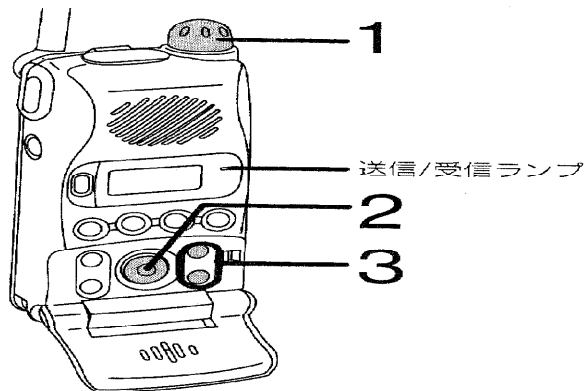
すべての子機

音量/切つまみをまわし、

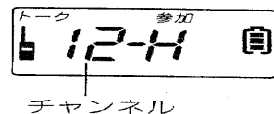
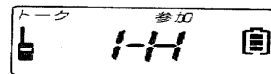
電源を切る

通話に参加する

最初に回線をつなぎそこねたときに、途中から通話に参加することができます。また、子機(呼び出された側)が通話の途中で電源を切ってしまったときも、同様の手順で元の通話に戻れます。



- 1 電源を入れる
- 2 参加(H/L)ボタンを押して“H”を表示させる
押すたびに
H→L
- 3 +、-ボタンで、通話しているチャンネル(1~18)をさがす
 - 受信すると、送信/受信ランプがみどりに点灯します。



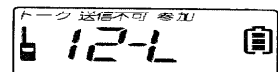
回線がつながり、親機の声が聞こえる状態になりました。通話方法は、「トランシーバーモードで通話する」または「電話モードで通話する」を参照してください。

■親機に送話中の子機の声聞くには参加(H/L)ボタンを押して“L”を表示させる

自分以外の子機が親機に送話中であれば、その子機の声が聞こえます。

参加(H/L)ボタンを押すたびに、親機の声(H)と、親機に送話している子機の声(L)のどちらかを受信するよう切り換わります。

- 子機の声の子機で聞くことができるのは、通話に途中から参加したときだけです。
- 子機には送信できません。
送信しようとする、「ピピピピ」という警告音が鳴り、“送信不可”と“L”の表示が点滅します。



ご注意/お手入れ

本機は郵政省の技術基準適合証明を受けて発売していますから、免許は不要です。

お求めになったその時から、すぐにご利用いただけます。

使用時のご注意

- 電波法を守ってご使用ください。
本機底面の技術基準適合証明ラベルをはがして使用することは、法律で禁じられています。
分解や改造しないでください。
- 他人の通信を聞いて、これを漏らしたり窃用しないでください。
- 本機の使用は日本国内に限られています。
- 旅客用航空機の中では、使用しないでください。
- ラジオやテレビ、電子レンジの近くで使用すると、電波妨害を与えたり、受けたりすることがありますので、これらの機器からは離れて使用してください。
- また、トランシーバーどうしも3m以上離して使用してください。

本体

- 夏の開め切った車内に放置しないでください。
100度に達することもありますので、キャビネットが変形、変色することがあります。
- 磁気帯びたものを近づけない
スピーカーの磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく働かなくなることがあります。

乾電池

- 乾電池の破損・液漏れなどの防止のために、つぎのことをお守りください。
- ⊕プラスと⊖マイナスは正しく入れる。
 - 新しい乾電池と、使用した乾電池は混用しない。
 - 違う種類の乾電池は混用しない。
 - 乾電池は充電しない。
 - 長時間使用しないときは、乾電池を取り出しておく。
 - 火の中への投入や、ショート、加熱はしない。

電池の持ち運び

ポケットやかばんに入れるときは、ネックレスなどの金属物といっしょにしないでください。ショートし、発熱、発火する危険があります。

使用済みの充電式ニカド電池は、貴重な資源を守るために、廃棄しないでリサイクル協力店へお持ちください。



お手入れについて

- 柔らかい布でふいてください。汚れがひどいときは、水や石けん水を含ませた布でふき、後は空ぶきしてください。
- アルコールやシンナーは使わないでください。
 - 化学ぞうきんをご使用のときは、その説明書をご覧ください。

浴室・屋外での使用について

本体のみ、日常生活防水設計（JIS保護等級4、防まつ形相当）品ですので、雨や雪の中、水しぶきのかかる場所、濡れた手でも使えます。

ご注意

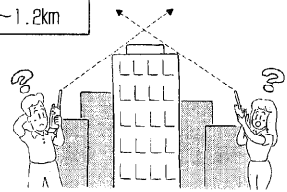
- つぎのようなことは、故障の原因となりますので避けてください。
- 水につけたり、多量の水をかける。
 - 高温、多湿の場所に長期間放置する。
- ご使用にならないときには、風通しのよい場所に置いておくことをおすすめします。

通話距離のめやす

電波の届く距離は、使用条件や、使用する場所によって異なります。

市街地	約50m~100m
見通しのよい場所	約0.3km~1.2km

コンクリートの壁や自動車など金属物体の近くでは、通話距離が短くなります。



定格

- 電波形式：F3E、F2D
 送受信周波数：440.0250~440.2375MHz、
 421.5750~421.7875MHz
 (12.5kHzステップ18ch対波、F3E)
 440.2500MHz、421.8000MHz（周波数制御ch、F2D）
 周波数安定度：±4ppm
 使用温度範囲：-10°C~+50°C
 電源電圧
 乾電池：DC4.5V(単3形乾電池3個)
 充電式電池：DC3.6V(別売りRP-BP20)
 外部電源：DC4.5V
 (DC IN端子) (別売りACアダプターRP-AC41A: AC100V、50/60Hz)
 (別売りカーアダプターSH-CDC9: DC12/24V)
 送信出力：1mW
 低周波出力：10mW (EIAJ)
 受信感度：-6dBμ (12dB SINAD)
 最大外形寸法：59(W)×125(H)×25(D)mm
 重量：約200g(乾電池含む)

電池持続時間

使用電池	連続通話時
付属パナソニック アルカリ乾電池LR6	約10時間
別売り充電式電池 RP-BP20	約6時間

電池持続時間は使用条件により、短くなることがあります。
この定格は性能向上のため変更することがあります。

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です。)

お買い上げ日	年	月	日	品番	RJ-X590Z
販売店名	☎() -				
お近くの当社 ご相談センター	☎() -				

保証とアフターサービス

修理・お取扱い・お手入れ

などのご相談は…
お買い上げの販売店へ
お申し付けください

■保証書 (表紙下)

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのあと、保存してください。

保証期間—お買い上げ日から1年間

■修理を依頼されるとき

もう一度取扱説明書をよくお読みいただき、ご確認のうえ、直らないときは、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理させていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品は、ご希望により有料で修理させていただきます。ただし、補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。